



注1) 公共用水域とは、河川、湖沼、港湾、沿岸海域その他公共の用に供される水域及びこれに接する水路等で下水道以外のものをいいます。

2) 水道施設(64の2(水質汚濁防止法施行令別表第1の特定施設番号。以下()内の数字において同じ。))については、⑩用水量には浄水される水量を含みます。

3) し尿処理場(72)、下水道終末処理場(73)については、⑩は処理対象となる受入し尿、下水の量を含みませんが、希釈水等として使用する水は含むこととします。ただし、⑰～⑱は事業場から排出される水すべてを対象とします。

4) 廃油処理施設(70)、産業廃棄物処理施設(71の4)、し尿浄化槽(72、81、92)、共同処理施設(74)のみが設置されている事業場については、上記3)に準じて、処理対象として受け入れる廃油、廃酸・廃アルカリ、し尿等又は特定事業場から排出される水は⑩に含みませんが、希釈水等として使用する水は含むこととします。ただし、⑰～⑱は工場又は事業場から排出される水すべてを対象とします。

⑳排水処理方法

各排水口から排水処理を行って排出を行う場合、その主な排水処理方法に対応するコードを下記の表から選んで記入してください。また、散水ろ床のようにろ過槽における生物化学的除去を主として期待するろ過は生物処理(コード「01」又は「02」)として扱ってください。

(排水処理方法の処理コード一覧)

排水処理方法の種類	処理コード
活性汚泥	01
その他の生物処理	02
凝集沈殿、凝集浮上、加圧浮上	03
砂ろ過	04
オゾン処理	05
活性炭	06
油水分離	07
その他の高度処理	08
沈殿、中和、無機物の除去を主目的とした処理等(上のいずれにも該当しない場合のみ)	09

3. 排水濃度等

ここでは工場又は事業場の排水口からの排水について記入していただきます。ただし、ここでの排水口とは、工場又は事業場から河川や海域等の公共用水域に排出される全ての部分を指します。特に、雨水排水など直接事業に関係のないものも含むのでご注意ください。

水質汚濁物質排出量総合調査票

(平成14年4月1日～平成15年3月31日実績)
 提出は原票でも願います。
 本枠内に記入してください。

送付先

〒100-1234

澁川市石水谷1-2-3
 清流産業株式会社
 石水谷工場 殿

本調査票の内容は、統計以外の目的に使用しません。

1. 工場・事業場の概要

① 工場・事業場名 **清流産業株式会社 石水谷工場**

② 所在地 **澁川市石水谷1-2-3 ㊟123-4567**

③ 記載所属 **環境部 技術課**

④ 担当者氏名 **川口 太郎 ㊟123-5678**

⑤ 産業分類 (産業分類が正しくない場合、□内に×を記入してください。)

01 製造業
 02 建設業
 03 卸売業
 04 小売業
 05 飲食業
 06 宿泊業
 07 娯楽業
 08 運輸業
 09 情報通信業
 10 電力・ガス・熱供給業
 11 水道・下水道業
 12 廃棄物処理業
 13 廃棄物収集運搬業
 14 建設業
 15 製造業
 16 建設業
 17 製造業
 18 建設業
 19 製造業
 20 建設業
 21 製造業
 22 建設業
 23 製造業
 24 建設業
 25 製造業
 26 建設業
 27 製造業
 28 建設業
 29 製造業
 30 建設業

上記以外の産業分類に該当する場合、下欄にその内容を記入してください。

⑥ 業種 (※0の欄は必ず記入してください)

⑦ 事業主 (法人の場合は代表者、個人の場合は本人)

⑧ 事業主の住所 (〒) 市町村 丁目 番 号

⑨ 事業主の電話番号 (〒) 市町村 丁目 番 号

⑩ 事業主の代表者 (氏名) 氏名

⑪ 事業主の代表者の住所 (〒) 市町村 丁目 番 号

⑫ 事業主の代表者の電話番号 (〒) 市町村 丁目 番 号

⑬ 事業主の代表者のEメール (〒) 市町村 丁目 番 号

⑭ 事業主の代表者のFAX (〒) 市町村 丁目 番 号

⑮ 事業主の代表者のホームページ (〒) 市町村 丁目 番 号

⑯ 事業主の代表者のEメール (〒) 市町村 丁目 番 号

⑰ 事業主の代表者のFAX (〒) 市町村 丁目 番 号

⑱ 事業主の代表者のホームページ (〒) 市町村 丁目 番 号

⑲ 事業主の代表者のEメール (〒) 市町村 丁目 番 号

⑳ 事業主の代表者のFAX (〒) 市町村 丁目 番 号

㉑ 事業主の代表者のホームページ (〒) 市町村 丁目 番 号

2. 用排水量及び排水処理方法

① 総排水量 (m ³ /日)	122	② 排水処理方法	122
③ 処理水量 (m ³ /日)	640		
④ 未処理水量 (m ³ /日)	250		

(注意) 3,000個は、3.00と記入

3. 排水濃度等 (公共用水域への排出を対象とします)

項目名	下限値	上限値	排水濃度等
01 水素イオン濃度 (pH)	6.5	8.5	7.5
02 BOD	5	10	7.5
03 COD	10	20	15
04 SS	10	20	15
05 ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/l)	10	20	15
06 抽出物質 (mg/l)	10	20	15
07 フェノール類 (mg/l)	10	20	15
08 亜硝酸 (mg/l)	10	20	15
09 亜硫酸 (mg/l)	10	20	15
10 溶解性マンガン (mg/l)	10	20	15
11 溶解性鉄 (mg/l)	10	20	15
12 クロム (mg/l)	10	20	15
13 大腸菌群数 (×100個/100ml)	10	20	15
14 糞菌数 (mg/l)	10	20	15
15 糞菌数 (mg/l)	10	20	15
16 糞菌数 (mg/l)	10	20	15

総務省承認No **23457**

承認期限 平成15年12月19日まで

環境省環境管理水環境部水環境管理課
 経済産業省産業技術環境局環境政策課環境指導室

点検内は記入の必要はありません。

01 製造業
 02 建設業
 03 卸売業
 04 小売業
 05 飲食業
 06 宿泊業
 07 娯楽業
 08 運輸業
 09 情報通信業
 10 電力・ガス・熱供給業
 11 水道・下水道業
 12 廃棄物処理業
 13 廃棄物収集運搬業
 14 建設業
 15 製造業
 16 建設業
 17 製造業
 18 建設業
 19 製造業
 20 建設業
 21 製造業
 22 建設業
 23 製造業
 24 建設業
 25 製造業
 26 建設業
 27 製造業
 28 建設業
 29 製造業
 30 建設業

4. 有害物質使用・製造の有無、排水濃度等

番号	有害物質の種類	① 使用	② 製造	③ 排出方法	④ 排水濃度 (mg/l)
01	カドミウム及びその化合物	1	2	3 4	ND
02	鉛化合物	1	2	3 4	ND
03	有機燐化合物 (※)	1	2	3 4	ND
04	鉛及びその化合物	1	2	3 4	ND
05	六価クロム化合物	1	2	3 4	ND
06	塩素及びその化合物	1	2	3 4	ND
07	水銀	1	2	3 4	ND
08	アルキル鉛化合物	1	2	3 4	ND
09	ポリ塩化ビニル	1	2	3 4	ND
10	トリクロロエチレン (※)	1	2	3 4	0.41
11	テトラクロロエチレン (※)	1	2	3 4	0.02
12	クロロメタン (※)	1	2	3 4	0.72
13	四氯化炭素 (※)	1	2	3 4	ND
14	1,1,2-トリクロロエタン (※)	1	2	3 4	0.109
15	1,1,1-トリクロロエタン (※)	1	2	3 4	0.42
16	1,1,1,2-テトラクロロエタン (※)	1	2	3 4	ND
17	1,1,2-トリクロロエタン (※)	1	2	3 4	ND
18	1,1,1-トリクロロエタン (※)	1	2	3 4	ND
19	1,2-ジクロロエタン (※)	1	2	3 4	ND
20	ブタジエン (※)	1	2	3 4	ND
21	ブタジエン (※)	1	2	3 4	ND
22	ブタジエン (※)	1	2	3 4	ND
23	ブタジエン (※)	1	2	3 4	ND
24	セレン及びその化合物 (※)	1	2	3 4	ND
25	ほう素及びその化合物	1	2	3 4	ND
26	ほう素及びその化合物	1	2	3 4	ND
27	アセチレン	1	2	3 4	ND

(※) 呼び方が他にある場合がありますので、記入要領をご確認ください。

① 製造の有無
 当該物質を製造して「有」に、また、当該物質を含む製品を製造している場合も「有」にしてください。

② 排出方法
 それぞれの有害物質をそれぞれの方法で排出している場合は、1から4まで記入してください。1から4まで記入していない場合は、空欄とさせていただきます。

③ 排水濃度
 排水濃度を分析している項目がある場合は、排水濃度を記入して下さい。分析していない項目については、空欄として下さい。

④ 使用の有無
 集の多少にかかわらず、使用していれば「有」に、当該物質を原料とする製品を使用している場合も「有」にしてください。

⑤ 排水濃度
 排水濃度を分析している項目がある場合は、排水濃度を記入して下さい。分析していない項目については、空欄として下さい。

⑥ 排出方法
 それぞれの有害物質をそれぞれの方法で排出している場合は、1から4まで記入してください。1から4まで記入していない場合は、空欄とさせていただきます。

⑦ 排水濃度
 排水濃度を分析している項目がある場合は、排水濃度を記入して下さい。分析していない項目については、空欄として下さい。

㊦排水濃度等

平均的な排水濃度（1年間の平均値など）を記入してください。ただし、定量限界以下の場合は、記入欄に「ND」と記入してください。なお、事業場内に公共用水域に排出する排水口が複数ある場合、平均的な排水濃度は、工場又は事業場にある全ての排水口からの排水濃度とそれぞれの排水口からの排水量から次のように平均値を算出してその値を記入して下さい。なお、網かけ欄に打ち出しているデータは、前回調査（平成13年度実績調査）においてご記入いただいたものであり、参考にして下さい。

(平均値の算出方法)

(排水口1) 排水量 Q_1 排水濃度 C_1

(排水口2) 排水量 Q_2 排水濃度 C_2

(排水口3) 排水量 Q_3 排水濃度 C_3

(排水口N) 排水量 Q_N 排水濃度 C_N の場合、
平均的な排水濃度 C は

$$C = \frac{Q_1 \times C_1 + Q_2 \times C_2 + Q_3 \times C_3 + \dots + Q_N \times C_N}{Q_1 + Q_2 + Q_3 + \dots + Q_N}$$

となります。

ただし、排水濃度が定量限界以下（ND）の場合は、排水濃度は0として取り扱ってください。

注) ◎水素イオン濃度(pH)については、1～14の範囲内で数値を記入して下さい。

(この範囲を超える数値は存在しないためです。)

◎大腸菌群数の単位は ×1000個/mlであり、記入の際注意して下さい。

(例：500個/mlの場合 → 0.5と記入して下さい。)

4. 有害物質使用・製造の有無、排水濃度等

ここでは工場又は事業場全体について記入していただきます。なお、調査票に記載している項目については別の呼び方が用いられることがあります。下記に代表的な例を表記しましたが、該当する物質がないか十分にご確認いただきますようお願いいたします。
(有害物質の別名の例)

項番	項目名	別名の例
03	有機燐化合物	パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン、EPN
10	トリクロエチレン	トリクレン、三塩化エチレン、三塩化エテン、エチニルトリクロライト
11	テトラクロエチレン	パーケレン、四塩化エチレン、パークロエチレン
12	ジクロロメタン	塩化メチレン、ジクロルメタン、メチレンクロライト、二塩化メチレン、メチレンジクロライト
13	四塩化炭素	四塩炭、四クロロメタン、ペンジノホルム
14	1,2-ジクロロエタン	二塩化エタン、二塩化エチレン、エチレンジクロライト
15	1,1-ジクロロエチレン	クロエチレン、1,1-ジクロロエテン、塩化ビニルモノマー、塩化ビニリデン、ビニリデンクロライト
16	シス-1,2-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエテン
17	1,1,1-トリクロロエタン	メチルクロロホルム
18	1,1,2-トリクロロエタン	β-トリクロロエタン

20	チウラム	テトラメチルチウラムジスルフィド、グリーンチオノック、チオノック、チウラミン、ホマゾールエフ
21	シマジン	2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-s-トリアジン
22	チオベンカルブ	S-4-クロロベンジル=N,N-ジエチルチオカルハート
24	セレン	セレンウム

②使用の有無、③製造の有無、④排出方法について、前回調査において回答いただいた項目には、あらかじめ回答欄に○がついています。当該箇所を訂正する場合は○を⊖と抹消した上で、該当するものに○を書いてください。

②使用の有無 当該物質を使用している場合、量の多少にかかわらず、「1」を○で囲んでください。使用していない場合は「2」を○で囲んで下さい。また、当該物質を原料とする製品を使用している場合も使用しているものとみなします。

③製造の有無 当該物質を製造している場合、量の多少にかかわらず、「1」を○で囲んでください。製造していない場合は「2」を○で囲んでください。また、当該物質を含む製品を製造している場合も製造しているものとみなします。

④排水の排出方法 それぞれの有害物質を含むおそれのある水がどのように処理されているか下記の中から該当するものを選んでその数字を○で囲んでください。
使用も製造もしていない項目は空欄としてください。

排出方法	番号
(処理した後) 公共用水域に排出	1
廃棄物処理業者による回収等	2
下水道に排出	3
その他	4

⑤排水濃度 工場又は事業場からの排水水について排水濃度を分析している項目があれば、その項目について排水濃度を記入してください。ただし、定量限界以下の場合は、記入欄に「ND」と記入してください。また、排水濃度データが複数ある場合は、平成14年度(平成14年4月1日から平成15年3月31日)のデータのうち最大のものを記入してください。網かけ欄に打ち出してあるデータは、前回調査(平成14年度実績調査)においてご記入いただいたものであり、参考にして下さい。

なお、排水濃度を分析していない項目については、空欄としてください。

その他、不明な点等ございましたら問合せ先にお問い合わせください。

ご協力ありがとうございました。